

大規模停電

広がる支援の輪

問い合わせ 総務グループ (☎05)1130)

平成24年11月27日(火)から30日(金)にかけて市内で発生した大規模停電は、観測史上2位(登別市内)の強風に雪が重なるといった過酷な自然現象が要因の一つとなって発生したもので、市内のほぼ全域が長期間にわたって停電するというこれまでに経験したことがない特異なものでした。

11月下旬の寒さの中、4日間にわたる大規模停電は多くの方の心と身体に負担をもたらしましたが、停電時に大きな混乱や二次災害が発生することなく、収束できたのは、町内会などによる防災訓練や防災研修会の参加など、日ごろからの地域ぐるみの防災への取り組みの成果だったのではないのでしょうか。

また、市内の信号機が停電で消えていたにもかかわらず、大きな事故が起これなかったことも、市民のモラルの高さがもたらしたものです。今回の大規模停電では、全国各地の企業や商店、団体、個人、自治体などさまざまな方から、たくさんのご支援をいただきました。大規模停電のときにお寄せいただいた支援物資は、今後の災害に備えて備蓄させていただきます。

皆さまのあたたかいご支援に改めてお礼申し上げます。

主な支援内容

●**発電機** 関係機関や民間企業から貸与された発電機を使用し、照明などを確保しました。

●**ストーブ** 自治体や民間企業から貸与・提供されたストーブを活用し、避難所の暖房など、寒さ対策を行いました。

●**毛布** 市の備蓄毛布のほか、関係機関から貸与・提供された毛布を活用し、寒さ対策を行いました。

●**炊き出しボランティア** 市民活動団体などの積極的な協力をいただき、豚汁やうどんなど、避難者に温かい食事を提供しました。

●**食糧品・飲料水** 市の備蓄非常食のほか、姉妹都市や民間企業などから提供されたおにぎりやパン、飲料水などを活用し、避難者に食事などを提供しました。

●**健康チェック** 関係機関や市内外の医療機関の協力のもと、市保健師や医師、看護師などによる避難所の巡回を行い、避難者の健康チェックを行いました。

毎日の暮らしの中で当たり前のように電気が使われている今日において、万が一、停電が発生し、しかもそれが冬期間において長時間継続した場合は、市民の生命に影響を及ぼす可能性があります。

今回の大規模停電を踏まえ、市は、停電対応マニュアルの作成や避難所での発電機、ストーブなどの備蓄を行う予定です。

皆さんも災害に備え、日ごろから飲料水や非常食などを備蓄し、避難生活に必要なものを詰めた非常用持ち出し袋を用意しておきましょう。

皆さんも災害に備え、日ごろから飲料水や非常食などを備蓄し、避難生活に必要なものを詰めた非常用持ち出し袋を用意しておきましょう。

停電に備えて用意しておくもの
停電が起きてから慌てるのではなく、日ごろからいざという時に備えておきましょう。

- 携帯ラジオ
- 懐中電灯・ろうそく・ランタン
- カセットコンロ
- 灯油ストーブ
- 使い切りカイロ・湯たんぽ
- 乾電池
- 携帯電話の乾電池式充電器

停電のときにはご注意ください

◎停電時に照明代わりにろうそくなどを使用するときは、火災にご注意ください。また、灯油ストーブなどの燃焼器具を使用するときは定期的に換気を行ってください。

◎停電解消時の火災防止のため、アイロンやドライヤー、電気ストーブなどの電熱器具・装置のプラグをコンセントから抜いてください。

◎出掛けるときには、分電盤のブレーカーを切ってから外出すると、電気の消し忘れによる事故を防ぐことができ、より安全です。



▲市民活動団体などによる炊き出しボランティア